

平成29年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成29年 4月18日(火)

2 調査対象 第3学年生徒 75名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語A、国語B 数学A、数学B)

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力)」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A(主として知識に関する問題)、国語B(主として活用に関する問題)ともに、全国平均を下回りました。主に「話すこと・聞くこと」の領域に課題が見られたので、重点的に力を入れていきます。

数学A(主として知識に関する問題)、数学B(主として活用に関する問題)ともに、全国平均を下回りました。主に「数と式」の領域に課題が見られたので、重点的に力を入れていきます。

(2) 生徒質問紙調査

成果が見られた項目

- 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- 学級みんなで協力してやり遂げ、うれしかったことがありますか。
- 家で、学校の授業の復習をしていますか。

課題が見られた項目

- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。
- テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では自分の意見を書いたり、考えを根拠を明らかにして説明するなどの問題について、課題が見られました。そこで本校では今後、次の点について重点的に取り組んでいきます。

- ・授業の中で、自分の考えを持つ場面を設定し、なぜそう考えたのか、その考えに至った根拠や理由を明確にする時間を確保する。
- ・生徒が互いの考えを説明し合う機会を設け、他者の意見を聞き、自分の意見と比較・検討する活動を行うことで生徒が相互に啓発しあうような授業づくりに努める。
- ・「わかる・できる」が実感できるような授業づくりを目指して、ICT機器の活用や指導法の工夫改善に取り組むとともに、既習事項を振り返る機会を設け、基礎・基本のより一層の定着を図る。

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

- ・ゲームやテレビ、スマホなどの利用についてルールを決めるとともに、子どもが落ち着いて学習できる場と時間を確保してください。
- ・計画的な家庭学習、宿題や授業の復習を行うことを習慣づけさせてください。

○地域行事等への参加

- ・ゲームやテレビ、スマホなどの時間を少なくし、家族のふれあいや会話の時間を大切にしてください。
- ・地域行事への参加などから地域や郷土のよさや人々のつながりの大切さを学ぶ機会を設けてください。